

第26回

ふるさとイベント大賞

受賞イベントの概要

令和4年2月17日

【 目 次 】

大賞(内閣総理大臣賞)

大分国際車いすマラソン (大分県)	2
-------------------	---

最優秀賞(総務大臣表彰)

山形名物 日本一の芋煮会フェスティバル(山形県山形市)	3
-----------------------------	---

優秀賞(地域活性化センター会長表彰)

SHIROFES.2020 一踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。 (青森県弘前市)	4
砺波チューリップフェア (富山県砺波市)	5
音信川うたあかり (山口県長門市)	6

ふるさとキラリ賞(選考委員会表彰)

『オペラ「石見銀山」』の制作、継続公演 祝「日本遺産認定」オペラ石見銀山オールキャストコンサート (島根県大田市)	7
いわみ子供神楽フェスタ2021 (島根県浜田市)	8

選考委員特別賞(選考委員会委員長表彰)

全国「かまぼこ板の絵」展覧会 (愛媛県西予市)	9
-------------------------	---

大分国際車いすマラソン

大分県、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会(大分県)

【概要】

昭和56年の国際障害者年を記念し、世界で初めての車いす単独の国際大会として開催された。現在では、世界中の車いすランナーが目標とする世界最大級の車いすマラソン大会となっている。



【評価のポイント】

- ・世界最大級の車いすマラソンイベントであり、このイベントを通じて世界各国の車いすの方々が交流し地域を盛り上げている。
- ・「世界トップレベルの障がい者スポーツイベント」かつ「大分の秋を彩るビッグイベント」としても広く定着している。
- ・約2,000人のボランティア等に支えられ、毎年の大会が円滑かつ盛況に運営されている。また、県内選手と地域の(年間を通した)交流事業のみならず、大会直前の海外選手来日期間中には、県民有志の通訳ボランティアグループ主催で海外選手と地域の小学生等による草の根型の国際交流事業も行われている。



山形名物 日本一の芋煮会フェスティバル

日本一の芋煮会フェスティバル協議会

日本一の芋煮会フェスティバル実行委員会（山形県山形市）

【概要】

山形市民の秋の味覚である「芋煮」を楽しむ「芋煮会」シーズンの始まりを告げるイベント。従来は直径6.5mの大鍋で約3万5千食を調理、提供するが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け代替イベントとしてドライブスルー形式の芋煮会「ドライブスルーで芋に恋して」を実施した。



【評価のポイント】

- ・通常時の日本一の大きな大鍋で調理し、バックホーを使用して芋煮をすくいあげる様子はインパクトが大きい。
- ・ほとんどの具材は県産物であり、県産農産物の消費拡大と観光誘客に貢献している。
- ・コロナ禍にあっての代替企画ではあったが、PRに努め、伝統を絶やさず継続することは、次の開催、更なる飛躍につながると考えられる。



SHIROFES.2020一踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。一ひろさき芸術舞踊実行委員会(青森県弘前市)

【概要】

歴史的建造物であり、桜の名所である弘前城を舞台に開催している世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバル。郷土芸能の津軽三味線、ねふた囃子の生演奏など弘前の伝統文化をふんだんに取り入れつつ、ダンスの世界大会など世界最高峰のパフォーマンスが繰り広げられる。



【評価のポイント】

- ・津軽郷土芸能である津軽三味線、津軽笛、ねふた囃子の生演奏、全国大会強豪校の地元高校生書道部パフォーマンスや、鎧の着付け体験といった、弘前ならではの伝統文化をふんだんに取り入れている。
- ・SNSを用いて開催したダンス世界大会の予選には、過去最高の42ヶ国から1,238名が参加するなど、オンラインで弘前の魅力を世界中に発信している。



第70回砺波チューリップフェア

【概要】

300品種300万本のチューリップが咲き誇る富山の春を彩る花の祭典。大花壇では花の地上絵や、富山県の景勝地である「雪の大谷」をチューリップで再現した「花の大谷」など多くのチューリップを様々な視点から観賞することができる。



【評価のポイント】

- ・地域資源であるチューリップの展示だが、様々なバリエーションとスケールの大きさに楽しませる工夫を行っている。
- ・地域住民がチューリップの植込みや主会場となるチューリップ公園の清掃、公園内の案内ボランティアなどにも協力している。
- ・イベント期間中には民謡・民舞の団体によるステージ披露や小中高生による吹奏楽のパレードも実施しており、文化芸術の披露の場ともなっている。



優秀賞(地域活性化センター会長表彰)

おとずれがわ

音信川うたあかり

長門湯本温泉まち株式会社(山口県長門市)

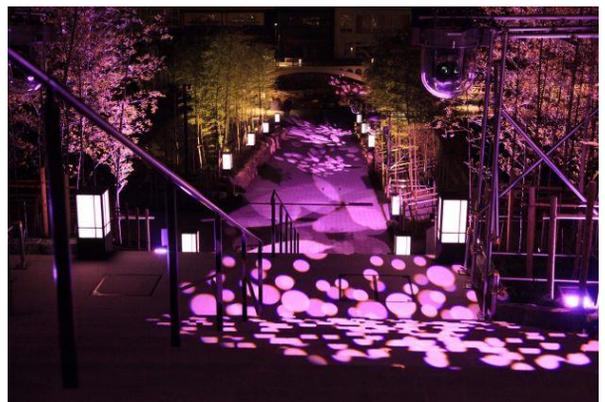
【概要】

冬の長門湯本温泉では、地元出身の童謡詩人金子みすゞの詩をテーマにした灯りイベント「音信川うたあかり」を実施。温泉街を包む幻想的な光の演出、市内の児童生徒が制作した数千の手作りモチーフでの特別な風景をお楽しみください。



【評価のポイント】

- ・自然豊かな温泉街らしい魅力的な夜間情緒を実現している。
- ・長門市出身の童謡詩人「金子みすゞ」の詩を視覚的なテーマとするのみならず、市民による朗読や合唱などの手法で詩そのものを光と融合させる照明演出によって表現している。
- ・温泉街のリニューアル前はほとんど見られなかった若年層が夜のそぞろ歩きを楽しむシーンを実現している。
- ・第3回では、市民20名による詩の朗読と園児による合唱が照明演出のBGMとして使用されると共に、市内すべての幼稚園・保育園の園児、小学校児童、中学校生徒が手作りした約3,000個の紙製ランプシェード「あかりのうつわ」を設置することができ、地域総出でイベントに関わっている。



『オペラ「石見銀山」』の制作、継続公演 祝「日本遺産認定」オペラ石見銀山オールキャストコン サート オペラ「石見銀山」実行委員会(島根県大田市)

【概要】

『オペラ「石見銀山」』は、西洋のオペラと島根県石見地域の石見神楽を融合させた、これまでにない全く新しい創作オペラである。今回、その挿入歌で構成したプログラムで、プロのオペラ歌手と地元合唱団によるオールキャストコンサートを開催した。

【評価のポイント】

- ・大田市が誇る世界遺産・日本遺産「石見銀山遺跡」の実話を基に、西洋の総合舞台芸術オペラと当地域の伝統芸能である「石見神楽」を融合させたイベント。
- ・県内外から多くの観光客が訪れ、経済波及効果も高い。
- ・オペラの挿入歌が地元のコンサートやイベント、小中学校の音楽会でも歌われるようになり、新しい文化として根付きつつある。



第24回いわみ子供神楽フェスタ2021 どんちっちサポートIWAMI(島根県浜田市)

【概要】

世界に誇る郷土芸能石見神楽を次世代へと受け継ぐ子供たちが一堂に会して、日頃汗や涙を流してきた練習の成果を「神」となり「鬼」となり、全身全霊をかけて上演しました。



【評価のポイント】

- ・フェスタ専属の神楽キャラクターを登場させ大会を盛り上げるなど最後まで楽しめる大会になる様に工夫されている。
- ・郷土が世界に誇る石見神楽を通して子供達にふるさと浜田のすばらしさを伝えるとともに、日々の練習で汗や涙を流しながら伝統文化と真摯に取り組み、その成果を発表できる事の嬉しさ楽しさを体験させている。



全国「かまぼこ板の絵」展覧会

西予市立美術館ギャラリーしろかわ(愛媛県西予市)

【概要】

食後廃棄される「かまぼこ板」を日本一小さなキャンバスにし、幼児から高齢者まで幅広い世代が想いを込めて描いた作品たちは、様々な人と人との想いを紡ぎ大きな感動となる。木のぬくもりを活かした、世界的に珍しい展覧会。

【評価のポイント】

- ・廃棄されるかまぼこ板をキャンバスとするアイデアが優れており、環境にも配慮したイベント。
- ・毎年応募する中で参加者の中で新たな交流が生まれている。
- ・第1回から第19回展覧会まで、どの回でも応募総数が11,000点を超えており、毎年全国のファンから数々の感動作品が届いている。

